佐敷中　勉学と運動両方に最善を尽くして！
文武両道（学校だより）

令和５年度
７月18日号
佐敷中学校
校　長　　平良 正哉

103日（　68日　）の一学期

〈　スポレク、生徒会入会式、避難訓練、総合発表　〉

4月7日に始まった一学期も７月20日で終わり39日間の夏休みに入ります。新しい学級・仲間と過ごした一学期はそれぞれにたくさんの挑戦がありました。

たくさんの行事を力を合わせて成功させました。あえて気にしたいのは当たり前の練習や準備を大事にしてくれたみなさんです。コロナの影響が少なくなっていろいろなことが３年ぶりに行えた１学期でした。

避難訓練はもしもに備えて準備をしておく必要があります。津波でも火災でもまた不審者が現れたときでもどう行動するかを普段から考えておきましょう。

中体連をはじめ、大会でも多くの活躍を見ることができたのもよかったです。もちろん日頃の練習をしっかり行っているからですが、当たり前の練習を大切にする佐敷中生徒の姿はとてもかっこよかったです。まさに文武両道だと感じる日々でした。夏休みもそして２学期以降もこの調子で日々の当たり前の練習や学習を大切にしていきましょう。

道具の使い方（リテラシー）

重要

**便利な道具も
使う人の
責任が伴う**

〈　便利な道具を責任を持って使いこなす　〉

包丁（刃物）、ライター（火）、スマホ・携帯（デジタル通信機器）を例に挙げてお話しします。いずれも便利さは計り知れず、なくては困る重要な道具です。

一方でその危険性も十分知っておかなくてはなりません。とくにＩＴ機器の発達で便利な生活が送れる一方で使い方が悪いと生活が乱れたり、他人に取り返しのつかないダメージを負わせるかもしれません。

夏休み中も使い方に気をつけて安全に過ごしましょう。

少年を健やかに育てる県民大会

７月14日（金）にシュガーホールで行われた大会で生徒会長の寺坂奏空さんが中学生代表で意見発表をしました。発表内容は近頃の子どもの貧困やヤングケアラーなどの問題の他、家族の団らんの大切さなど、多くの課題を改めて確認しながらこれからどうしたいかを具体的に述べていました。高校生代表はいくつかの高校で分担してポスターを作成し、子どもや大人、地域社会それぞれに向け啓発内容をアピールしているという報告でした。

県知事、県教育長、県警本部長、市教育長など各方面からのあいさつ（代読）もあり社会的に大きな取り組みが必要だとがわかりました。

毎月第３金曜日は「少年を守る日」土曜日は「沖縄地域教育の日」そして日曜日は「家庭の日」として位置づけられています。

県PTA連合会会長が大会アピールを述べた内容をかけ声だけで終わらせないよう、今一度確認したいです。特にスマホ・タブレットの弊害やＳＮＳ利用等に係る注意喚起はなれ合いにならないようにしたいです。

時を守り・場を清め・令を正す

7月２日のＰＴＡ親子作業では３年生とその保護者を中心に126人の受付がありました。実質は150名以上の参加があったかと思います。暑さも厳しい中で、かなりの仕事量でした。そのときに来れないからと前日や早朝に作業してくださったみなさんもいてほんとうにありがとうございました。学校では美化委員会を中心に7月10日から一週間、清掃コンクールを行い、改めて磨き直したり力を入れて学校磨きに取り組みました。

夏休み期間中は部活動をするみなさんが学校内外の清掃をしてくれるとのことでとてもうれしく・頼もしい限りです。例年、佐敷中学校は南城市の社会福祉協議会からボランティア推進校「校内及び校外清掃美化活動」として活動助成を受けています。１学期を締めくくり，巻き直してさらに高みを目指したいです。

時間を守ること，練習場所はもちろん学校内外をきれいにしたり、あいさつが出来ることは素晴らしいことだと思います。